

総 会 次 第

平成23年6月26日（日）
10時15分～11時45分
長岡京駅前バンビオ

1. 開会の言葉（司会）
2. 挨拶（理事長代理）
3. 議長選出（司会）
4. 議事録署名人 選出（ここから議長）
5. 審議事項（議案の決議）
 - 第一号議案 平成22年度事業報告および決算報告について
事業報告（野本理事）、
決算報告（小椋理事）
監査報告（錦織監事）
 - 第二号議案 平成23年度事業計画並びに収支予算について
事業計画（世良田理事）
収支予算（小椋理事）
6. 連絡報告事項
作業責任者分担の選出
7. 司会 閉会の言葉

NPO法人 竹の学校 2010年度 活動報告

2011.6.5

年 月	作業日数	会員参加数	(ゲスト人数)	活動内容
10.06	8	95	(1)	竹林(B地区)の間伐・6/19 NPO法人竹の学校総会実施 物置小屋(竹製)の屋根修理と増築
10.07	7	116	(30)	竹工芸(行灯)作業・物置小屋増築・作業道整備 竹林(B地区)の間伐・施肥作業・部外グループ30名 竹林見学(枚方市・新居浜市)
10.08	4	64		京都市三条会商店街へ七夕用の竹搬送・竹林コンサートの準備・竹葉の異常(葉が丸まっている)
10.09	7	111	(8)	竹林コンサートの準備(ポスター・パンフレット等) 竹林コンサートの設営(観客席・特売場・通路の整備) 物置小屋(3棟)移転・竹工芸作業
10.10	13	191	(12)	竹林コンサート会場の設営(舞台・観客席)通路の整備・ 10/16 竹林コンサート実施(観客数約300人) コンサート会場の解体・雨天作業場の屋根葺き作業 藁を城陽・法隆寺地区から譲り受け収集搬入実施
10.11	8	117	(3)	バックホーによる土掘り・竹林(A・C地区)の間伐・ 間伐竹の焼却・藁敷き・肥料撒き・土入れ作業
10.12	7	98	(5)	土入れ作業・間伐竹の焼却
11.01	5	77	(40)	土入れ作業・間伐竹の焼却・柴垣造り・竹工芸作業
11.02	7	92	(4)	竹林(C地区)内の伐採済みの竹整理・間伐竹焼却 柴垣造り・簡易トイレ改造・椎茸のホダ木を西山から 搬入・ホダ木台作成・竹工芸作業・椎茸菌打ち込み
11.03	9	154	(6)	タケノコの初掘り・竹林(C地区)の間伐・間伐竹の焼却 竹工芸作業と作品を展示(京都竹カフェ主催 場所:同志社 大学 寒梅館)
11.04	12	194	(30)	京都テレビ竹林作業取材・エコツアー3組(21名)参加 タケノコ堀作業
11.05	8	108	(35)	竹箒50本造り、東日本大震災地の岩手県へ支援用として 送った。「角竹」造り(6本)を初めて実施。新竹の先止め 作業

[合計] 95日 1417人 (174)人

平成22年度事業報告書

特定非営利活動法人 竹の学校

1 事業の成果

今年度は計画した事業のほとんどを消化した。放置竹林整備、地域の活性化に貢献したと考える。

NPO法人として3年が経過して、地域社会にどのように貢献していくか課題は多いですが、挑戦して行きたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 事業名 放置竹林整備事業

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
活動日水、土 9時から12時	長岡京市 長法稲荷神社隣接竹林 及び京都市伏見区竹林	延べ100名	25名	101千円
事業内容	<p>【目的】 放置竹林の削減してタケノコ畑を再生し、水を地下に涵養、竹林の環境美化活動。</p> <p>【内容】 定期活動日に放置竹林に入り、枯れ竹を集め焼却し、間伐作業を実施。手付かずの竹藪の地主様と意見交換を行い、現状の高齢化等の課題を話し合い、たけのこ畑に戻すため、どうすればよいか話合いの実施。たけのこ畑の再生のため京たけのこの栽培指導を図った。 焼却した竹炭は有機農業されている人に活用していただき効果を調査依頼。 長法寺のB地区は里山再生利活用グループに委託管理。</p> <p>【活動の成果と課題】 放置竹林整備することにより、周辺に環境美化が図れて、市民より感謝されている。今後、作業者拡大のため、ボランティアに来ていただける体制づくりが必要。またたけのこ畑を継承できるよう支援体制が必要。</p>			

② 事業名 たけのこ栽培

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
毎水・土曜日 9時から12時	長岡京市 長法稲荷神社隣接竹林	約700人	95名(新居浜・枚方・エコグループ)	174
事業内容	<p>【目的】 京都式軟化栽培法の継承</p> <p>【内容】 一連の作業(新竹のシンドメ・下草刈・肥料撒き・ワラ敷き・土入れ)を実施してきたが、異常気象(高温継続・雨不足)・竹の葉異常等で、初堀が例年より約2週間遅れ成長も悪かった。しかし4月中旬以後は持ち直し通年の8割程度の作柄となった。 収穫したタケノコ(1127kg)は会員・エコツアー体験者等に頒布した。</p> <p>【活動の成果と課題】 会員に安価でタケノコを頒布出来たが、年々高齢化していく中での作業(土入れの運搬作業)の負担が大きい。会員の若返り、栽培方法の体験受入れ、機械化の必要性も検討が急務である。</p>			

③ 事業名 竹工芸

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
農閑期 6~9月、1~3月 の水、土曜日	長岡京市 長法稲荷神社隣接竹林	延べ50人	展示会に来場の一般の市民(販売は無し) 約400人	6千円 (震災支援物資輸送費含む)
事業内容	<p>【目的】 主に竹林の伐採竹の孟宗竹を使った竹行灯等の製作および作品展示を通じ、竹の新しい文化を創造する。</p> <p>【内容】 主に竹林の農閑期を利用して定期活動日に会員有志で活動。 本年度は京都府主催「地域力文化祭/みやこメッセ」(10月3日)と「竹まつり」(3月27~28日)、竹の学校主催の「竹まつり」(10月16日)に作品約20点を展示した。また、東日本大震災の支援物資として竹箒を50本製作し、さらに緑の協会に20本提供した。</p> <p>【活動の成果と課題】 たまたまプロの方が会員のため、作品のレベルが高く、展示会での注目度大。竹の学校の活動と、伐採竹を活用する竹の文化活動の広報に貢献できた。 農閑期と不定期な活動のため、会員以外に竹工芸のみの参加希望者を受け入れていない。当面、竹林整備作業にも関心を持ってくれる希望者に絞らざるを得ない。 一般参加と竹林整備との両立ができる体制が必要。</p>			

④ 事業名 第4回竹林コンサート「竹まつり」

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
平成22年10月16日(土) 10:30~15:30	長岡京市 長法稲荷神社隣接竹林	延べ70名	約400名	1,352
事業内容	<p>【目的】 放置竹林整備についての啓発活動</p> <p>【内容】 「竹まつり」の開催 一部：竹セラピーと題し子供向け竹細工・素足で歩ける竹踏み道、チョット一服自然の中で野点を楽しみつつ、舞台では銭太鼓に合わせ90歳女性のドジョウすくい踊り・皆健康体操・落語などの演目。 竹林環境の中で身体を動かして心を解き放つ試み。 二部：「祈り」をテーマに西山浄土宗青年僧の声明や般若心経とシューベルト・ミサ曲合唱団との協奏、日本の祈りうた、子供達の合唱、また文屋範奈さんの独唱は智から強く、語りかける歌声は観衆に感動を与えてくれた。</p> <p>【活動の成果と課題】 写真展、漢詩展、竹工芸品展では、其々の愛好家が集まり連携が出来た。恒例の竹林コンサートは地元の光明寺を中心とした青年僧と市内合唱団とのジョイントは好評を博した。新しい試み「竹セラピー」は子供から大人まで楽しみながら健康増進を図る諸項目が来場者に親しまれた。竹マーケットは準備不足が否めなかった。</p>			

(2) その他

- ① 京の七夕に協賛。 三条会商店街に竹を提供。(8月4日)
- ② 新居浜(竹林をよくする会)の竹林見学及び意見交換会実施。(7月24日)
- ③ NPO法人森林ボランティア竹取物語の会の竹林見学及び意見交換会実施。(7月31日)
- ④ 地域力文化祭に竹工芸出展。(10月3日)
- ⑤ 地域力見学ツアー受入れ40名(12月4日)
- ⑥ 竹カフェ主催の竹まつりに参加、竹工芸品出展 (3月27~8日)

平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

(平成22年6月1日から平成23年5月31日まで)

特定非営利活動法人 竹の学校

科 目	金 額(予算)			金 額(実績)		
I 収入の部						
1. 会費・入会金収入						
入会金収入	5,000			8,000		
会費収入	32,000	37,000		37,000	45,000	
2. 事業収入						
入山料収入	56,000			12,000		
頒布料収入	700,000	756,000		637,100	649,100	
3. 補助金収入						
活動費補助金	900,000			900,000		
活動費補助金	259,000	1,159,000		259,000	1,159,000	
4. 寄付金収入						
寄付金	500,000	500,000		451,940	451,940	
5. 雑収入						
雑収入	20,000	20,000		46,944	46,944	
当期収入合計(A)		2,472,000			2,351,984	
前期繰越収支差額		-3,571			-3,571	
収入合計(B)			2,468,429			2,348,413
II 支出の部						
1. 事業費						
竹林コンサート開催事業	1,350,000			1,352,238		
荒廃竹林における整備事業	130,000			146,526		
筍栽培の保存継承事業	300,000			174,472		
竹炭作りとシイタケの原木栽培	20,000			29,484		
たけのこ及び関連商品の頒布	10,000			16,081		
その他(ボランティア活動事業)	0			7,430		
		1,810,000			1,726,231	
2. 管理費						
借入金返済支出	76,000			76,000	15.0%	
旅費交通費	170,000			168,342	33.0%	
通信費	14,000			2,400	0.5%	
会議費	10,000			8,940	1.8%	
地代家賃	36,000			73,400	14.5%	
宣伝広告費	70,000			31,062	6.1%	
消耗品費	110,000			15,901	3.1%	
水道光熱費	2,000			2,000	0.4%	
租税公課	10,000			8,800	1.7%	
福利厚生費	29,000			25,400	7.4%	
図書費	2,000			1,500	0.5%	
利子割引料	4,560			4,560	0.9%	
荷造運賃	70,000			82,600	16.3%	
その他	2,000			4,961	1.0%	
当期支出合計(C)		605,560	2,415,560			2,232,097
当期収支差額(A)-(C)			56,440			119,887
次期繰越収支差額(B)-(C)			52,869			116,316

平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成 23年 5月 31日 現在

特定非営利活動法人 竹の学校

科 目 ・ 適 用	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	659,042		
流動資産合計		659,042	
2. 固定資産			
固定資産合計	0	0	
資産合計(A)			659,042
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
借入金	380,000		
固定負債合計		380,000	
負債合計(B)			380,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産(C)		-3,571	
当期正味財産増加額(D-C)		279,042	
正味財産合計(A-B=D)			279,042
負債及び正味財産合計(B+D)			659,042

(単位:円)

平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成 23年 5月 31日 現在

特定非営利活動法人 竹の学校



科目・適用	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	44,145	
普通預金 京都銀行	66,909	
ゆうちょ銀行	547,988	
流動資産合計		659,042
2. 固定資産		
固定資産合計	0	0
資産合計(A)		659,042
II 負債の部		
1. 流動負債		
前受金	0	
流動負債合計		0
2. 固定負債		
長期借入金	380,000	
固定負債合計		380,000
負債合計		380,000
正味財産		279,042

(単位:円)

非特定営利活動促進法第18条の規定に基づき、平成22年6月1日から平成23年5月31日までの事業年度に関わる財産の状況を監査いたしました。

監査の方法は、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、該当事業年度に係わる財産目録、貸借対照表及び収支計算書について検討いたしました。

監査の結果、財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、当法人の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

監事 錦織 努 
 監事 竹内 優夫 

平成23年6月26日
NPO法人 竹の学校

平成23年度（平成23年6月～平成24年5月）事業計画

1. 事業実施計画方針

昨年実施した事業の継続と放置竹林の削減と環境整備を図る

- 1) 放置竹林の整備作業の推進と水資源の涵養を加速
- 2) 京たけのこの生産と技術継承を図る
- 3) エコツアー（たけのこ掘り体験と間伐作業の体験）の受入れ
- 4) 放置竹林の周辺の美化活動と長法稲荷の美化
- 5) 竹材の有効活用（竹細工、竹炭づくり）
- 6) 間伐材利用によるシイタケ栽培に挑戦

2. 事業実施時期

- 1) 放置竹林の整備は 水曜日、土曜日に実施
場所 B地区竹林、C地区竹林、支援竹林
- 2) 京たけのこ生産 年間作業として施肥（4月、6月、11月）
間伐（9月～10月）、藁敷き（11月）
土入れ11月～12月）
- 3) エコツアー （4月、9月、10月）
- 4) 美化活動 5月、10月
- 5) 竹細工と竹炭づくり 月1回と 竹炭は7月と1月
- 6) シイタケ栽培、 1月は原木の切出し、2月は植菌

3. その他の支援事業

- 1) 京たけのこ栽培支援と間伐作業のアドバイス
- 2) 京の七夕に参画
- 3) 京都府立大と長岡京市支援協力
- 4) 他グループへの参画

以上

平成23年度 特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

(平成23年6月1日から平成24年5月31日まで)

特定非営利活動法人 竹の学校

科 目	金 額(予算)		
I 収入の部			
1. 会費・入会金収入			
入会金収入	5,000		
会費収入	37,000	42,000	
2. 事業収入			
入山料収入	30,000		
頒布料収入	650,000	680,000	
3. 補助金収入			
活動費補助金	145,637	145,637	
4. 寄付金収入			
寄付金	70,000	70,000	
5. 雑収入			
雑収入	50,000	50,000	
当期収入合計(A)		987,637	
前期繰越収支差額		116,316	
収入合計(B)			1,103,953
II 支出の部			
1. 事業費			
竹林コンサート開催事業	0		
荒廃竹林における整備事業	120,000		
筍栽培の保存継承事業	120,000		
竹炭作りとシイタケの原木栽培	30,000		
たけのこ及び関連商品の頒布	20,000		
その他(ボランティア活動事業)	10,000		
		300,000	
2. 管理費			
借入金返済支出	76,000		
旅費交通費	100,000		
通信費	10,000		
会議費	10,000		
地代家賃	100,000		
宣伝広告費	50,000		
消耗品費	50,000		
水道光熱費	2,000		
租税公課	10,000		
保険費	30,000		
図書費	5,000		
利子割引料	4,560		
荷造運賃費	100,000		
補修費	100,000		
総会費	10,000		
その他	5,000		
		662,560	
当期支出合計(C)			962,560
当期収支差額(A)－(C)			25,077
次期繰越収支差額(B)－(C)			141,393

(単位:円)

平成23年6月26日
NPO法人 竹の学校

平成23年度作業責任者

1. 京たけのこ生産、頒布担当 野本、窪田、塚崎。竹内、川路、原、
2. 経理担当 小椋
3. シイタケ栽培管理 担当 多田、島谷
4. 竹林伐採整備担当 林（哲）、 世良田
5. 竹 細 工 担当 澤、 稲岡、辻井、
6. 花壇の維持管理 担当 稲岡（き）、 高橋
7. 備品管理（物置管理）担当 竹内、錦織、濱上
8. 広報（エコツアー受入れ）担当 杉谷、山本、稲岡
9. 竹炭作り 担当 稲岡、小椋、濱上
10. 木工細工（間伐材活用）担当 荒木、野本
11. 外渉窓口 小椋、世良田

担当者は業務の実行と管理をお願いします。担当以外の人も積極的な協力をお願いします。